

2022年10月31日

各 位

会 社 名 S A N E I 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 岡 利 明
 (コード番号：6230 東証スタンダード市場)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 コーポレート本部長 早 川 徹
 TEL. 06-6972-5955

2023年3月期 第2四半期連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月9日に公表いたしました2023年3月期 第2四半期の連結業績予想と本日発表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、同日に公表いたしました2023年3月期 通期の連結業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 第2四半期連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,630	百万円 550	百万円 540	百万円 330	円 銭 144.17
実績値 (B)	12,633	103	89	△32	△13.99
増減額 (B-A)	3	△446	△450	△362	
増減率 (%)	0.0	△81.1	△83.5		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期第2四半期)	11,058	692	705	464	202.81

2. 差異の理由

2023年3月期 第2四半期の売上高ですが、住宅市場向けの受注増加、デザイン水栓シリーズ・高機能製品など高付加価値製品の拡販、新規連結会社による売上増加等により、堅調に推移しており、前回発表の予想（2022年5月9日 業績予想）から大きな乖離はございません。

しかしながら、急激な円安進行や物価高騰の影響などにより、原材料・仕入価格が想定以上に高騰している状況であり、顧客への販売価格の改定を推進するも浸透が遅れ、また岐阜工場の増改築に伴う特別損失を計上したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について、前回発表の予想（2022年5月9日 業績予想）を下回る結果となりました。

3. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,000	百万円 1,670	百万円 1,640	百万円 1,050	円 銭 458.72
今回修正予想 (B)	26,000	700	680	400	174.75
増減額 (B-A)	-	△970	△960	△650	
増減率 (%)	-	△58.1	△58.5	△61.9	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期通期)	22,999	1,477	1,492	999	436.62

4. 修正の理由

2023年3月期 通期の売上高ですが、住宅市場向けの受注増加、デザイン水栓シリーズ・高機能製品など高付加価値製品の拡販、新規連結会社による売上増加等が続くことが見込まれ、前回発表の予想（2022年5月9日 業績予想）から変更はございません。

しかしながら、さらなる円安や物価高騰の進行が懸念されることから原材料・仕入価格の高止まりが想定され、顧客への販売価格の改定は浸透が進むと見込まれるものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表の予想（2022年5月9日 業績予想）を下回る見通しとなりました。

（注）上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以上